



2025 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 シ ス テ ム イ ン テ グ レ ー タ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 引 屋 敷 智
(コード番号：3826 東証スタンダード)
問 合 せ 先 経 営 サ ポ ー ト 本 部 経 営 企 画 部 長 岩 井 智 史
(TEL. 048-600-3880)

AIエージェント事業の開始に関するお知らせ

当社は、製造現場における基幹業務システムによる自動化が実現できない挟間の業務を自動化するAIエージェント事業を開始したことを下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業立ち上げの背景

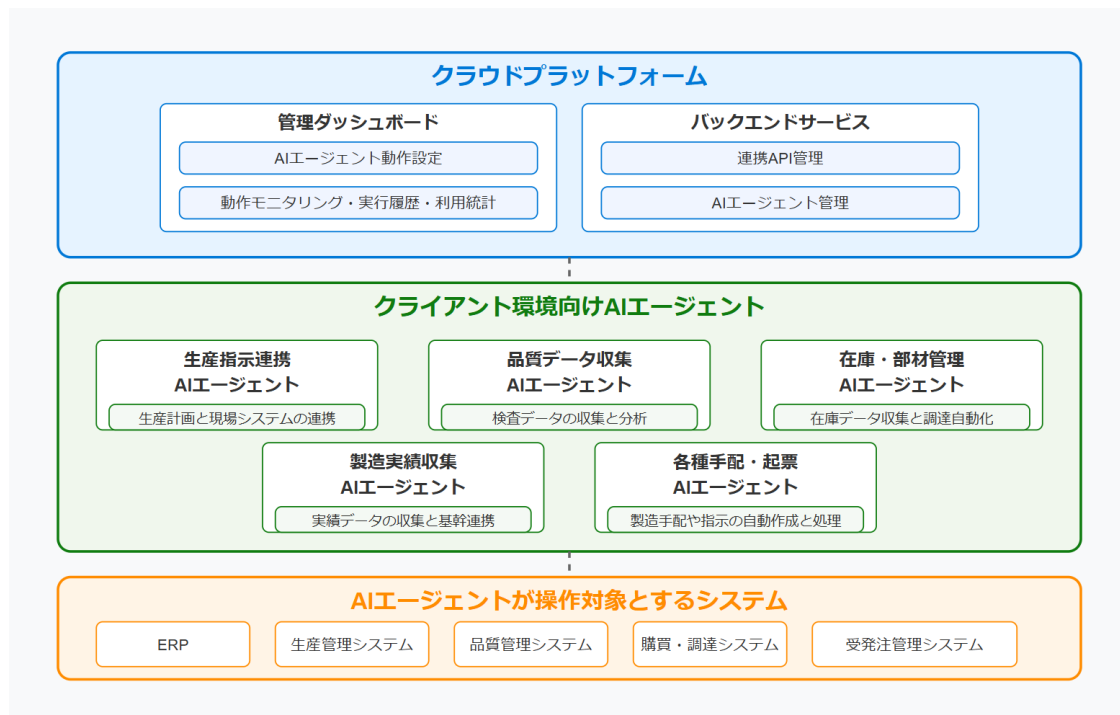
当社は1995年の創業以来、ERP（統合型基幹業務システム）を中心とした基幹業務の効率化を支援することで、多くの製造業のお客様に貢献してまいりました。

日本の多くの企業では、各社特有の複雑な業務要件を踏襲することで、現行業務にシステムを合わせる結果となり、業務改善が進まずにシステム環境の刷新やデータの統合整備に終わってしまうケースがほとんどです。そのため、業務の標準化や事業の競争優位を支える領域のデジタル化まで投資が回らず、日本の産業界は急速に生産性を損ない世界的にも競争力を失いつつあります。こうしたシステム投資の実態を踏まえると、日本企業が生産性を高めて将来の過酷な競争に打ち勝つには、データ活用と自動化を強力に推し進めて、現場の実態に即したシステム投資戦略が必要と考えます。

このような背景から、当社は、最新の生成AIとこれまで培った基幹業務システムのノウハウを組み合わせ、システムとシステムの狭間で散在する非生産的な作業をAIで自動化するAIエージェント事業を開始するに至りました。

2. AIエージェントの特徴

AIエージェント事業では製造業の生産性向上や競争力向上を支援するために、クライアント環境におけるAIエージェントの提供を行います。



（１）既存システムの変更は不要

ERPや生産、販売管理システムなどの既存システムを変更することなく導入でき、API連携がない旧来システムとも画面操作の自動化で連携可能です。高額なシステム刷新を行わずとも、既存資産を最大限に活用できます。

（２）ローカル処理による高セキュリティ

機密データ処理はクライアント内のブラウザで完結し、情報漏洩リスクを最小化します。外部のAIサービスに機密データを送信せずに処理することで、製造現場の重要な情報を守ります。

（３）製造現場の業務に特化したAIエージェント

製造現場の業務効率化に特化した専用AIエージェントを提供します。それら業務の現場特性を熟知した当社だからこそ提供できる、実用的かつ効果的な自動化ソリューションです。

【製造現場における活用例】

- ・ 技術・設計書類の作成、メンテナンスや類似書類の検索による設計リードタイム短縮
- ・ 設計変更に伴う業務精度向上
- ・ 製品情報の生成・更新や自動分類整理
- ・ 購買処理の自動最適化や精度向上
- ・ 受注処理の自動化
- ・ 需給予測計画の自動最適化
- ・ 製造手配指示の動的最適化 など

3. 今後の見通し

現時点においてAIエージェント事業が2025年２月期の業績に与える影響はありません。